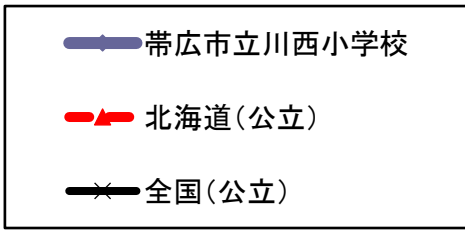
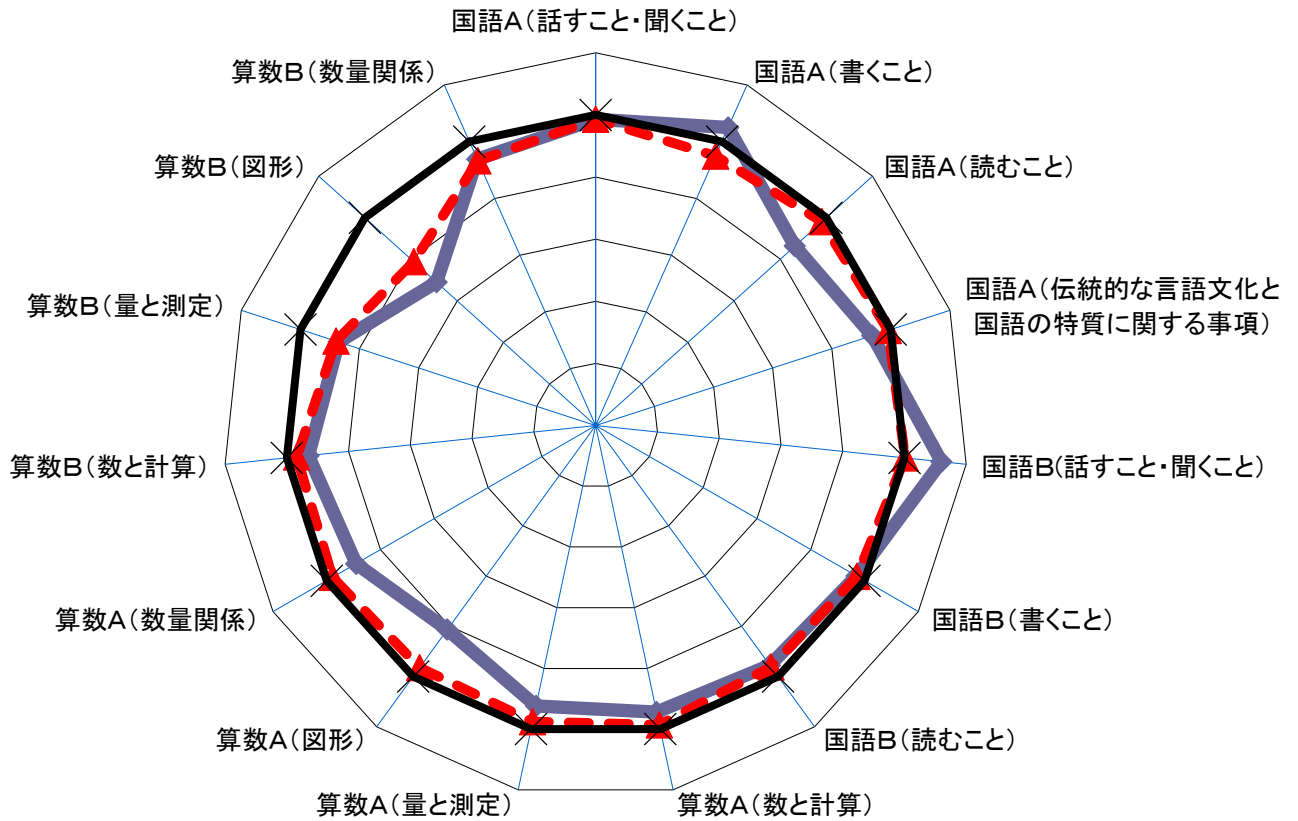


平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

帯広市立川西小学校



全国平均を100として、項目ごとに比較しています。



国語A 主として「知識」に関する問題

〈本校児童の傾向〉

正答率は全道・全国平均とほぼ同程度

- ◎目的や内容に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができています。
- 漢字の読み書きは概ね正答率が高く、多くの児童が理解している。【問題例①】
- 手紙の構成を理解して、後付けを書く問題に課題が見られた。

【問題例①】

・ 事務室前に申しこみ用紙と箱が ⁽⁴⁾おいてあり
ます。用紙にクラスと名前を書いて、箱に入れ
⁽⁵⁾てください。

事→3学年 務→5学年 室→2学年
置く→4学年

各学年の継続した取組により、漢字の定着が図られています。

算数B 主として「活用」に関する問題

〈本校児童の傾向〉

正答率は全道・全国平均とほぼ同程度

- ◎示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができる。
- ◎示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断することができる。
- 身近なものに置き換えた基準量や割合を基に、比較量に近いものを判断し、その判断の理由を言葉や式を用いて記述することに課題が見られる。【問題例④】

【問題例④】

月の直径を、硬貨の直径に置きかえて考えます。
1円玉、100円玉、500円玉の直径は、それぞれ下のとおりです。

硬貨の種類とその直径		
1円玉	100円玉	500円玉
 20mm	 22.6mm	 26.5mm

(2) 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときに、「最大の満月の直径」をもとにして14%長くなっている「最大の満月の直径」は、100円玉と500円玉のどちらの直径に近いですか。

下の 1 と 2 から選んで、その番号を書きましょう。

また、選んだ硬貨のほうが「最大の満月の直径」に近いと考えたわけを、言葉や式を使って書きましょう。

- 1 100円玉
- 2 500円玉

・ A

【番号】 1

【わけ】 最大の満月の直径は $20 \times 1.14 = 22.8$ で、22.8mmです。
100円玉の直径との差は $22.8 - 22.6 = 0.2$ で、0.2mmです。
500円玉の直径との差は $26.5 - 22.8 = 3.7$ で、3.7mmです。
100円玉の直径との差のほうが小さいので、100円玉のほうが近いです。

【番号】を答えることをできていましたが、【わけ】を説明することができず、子ども達は正答にたどり着くことができませんでした。
自分の考えた理由を数学的に表現する力が求められています。

〈本校児童の傾向〉

- 毎日朝食をしっかりと食べている。
- ◎毎日同じ時刻に寝る、起きるなど、基本的な生活習慣が整っている。
- ◎自尊心（自分にはよいところがあるなど）や仲間と協力することに対する肯定感を持っている。
- ◎家庭で、自分で計画を立てて学習する習慣が身についている。
- ◎家庭で、読書をする習慣が身についている。
- 地域や社会で起こっている問題や出来事への関心が薄く、ニュースを見ることも少ない。
- 学習したことが、将来、社会に出たときに役に立つと思う児童が少ない。
- 家庭でのTV・DVDの視聴時間が長い。

調査結果を受けて

〈授業や学習に関すること〉

- 基礎・基本の定着のため、全校的な取組を継続し、学び方の指導と併せて家庭学習の習慣化を図る。
- 問題解決的学習や体験的な学習を計画的に行い、達成感を持たせるとともに社会とのつながりを考える力を育てる。
- 放課後や長期休業中の学習サポート（特別教室）を行い、補充的学習の充実を図り、学び漏れがないように指導する。
- 全国学力学習状況調査の過去問題及びチャレンジテストを活用（日常の授業での活用、再テストの実施）し、苦手分野の学習に取り組む。

〈家庭との連携〉

- 家庭学習の手引きの継続による家庭学習の習慣づけ
- 学校だよりや学級通信などを活用し、日常の授業実践の紹介や子どもたちのつまずきの共有
- TVやDVDの視聴時間を減らすための啓発活動の推進